Part-2
展示ガイド



1…展示室の配置

2…総合展示室

3…テーマ別展示室

4…神話展示室

5…模型・映像プログラム

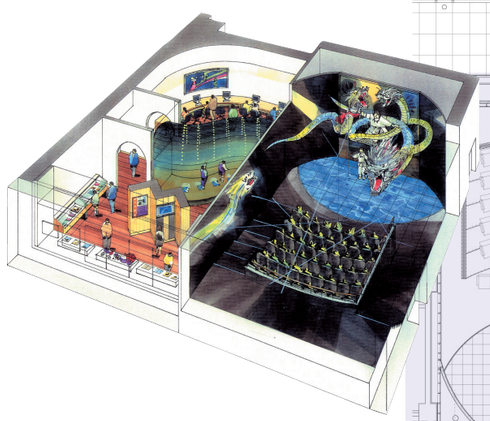
Part 2 1 展示室の配置



古代出雲歴史博物館の展示室は,「総合展示室」・「テーマ別展示室」・「神話展示室」・「特別展示室」の４つから構成されています。ここでは,各展示室の展示内容や,その見どころなどを紹介します。

神話展示室（神話回廊）

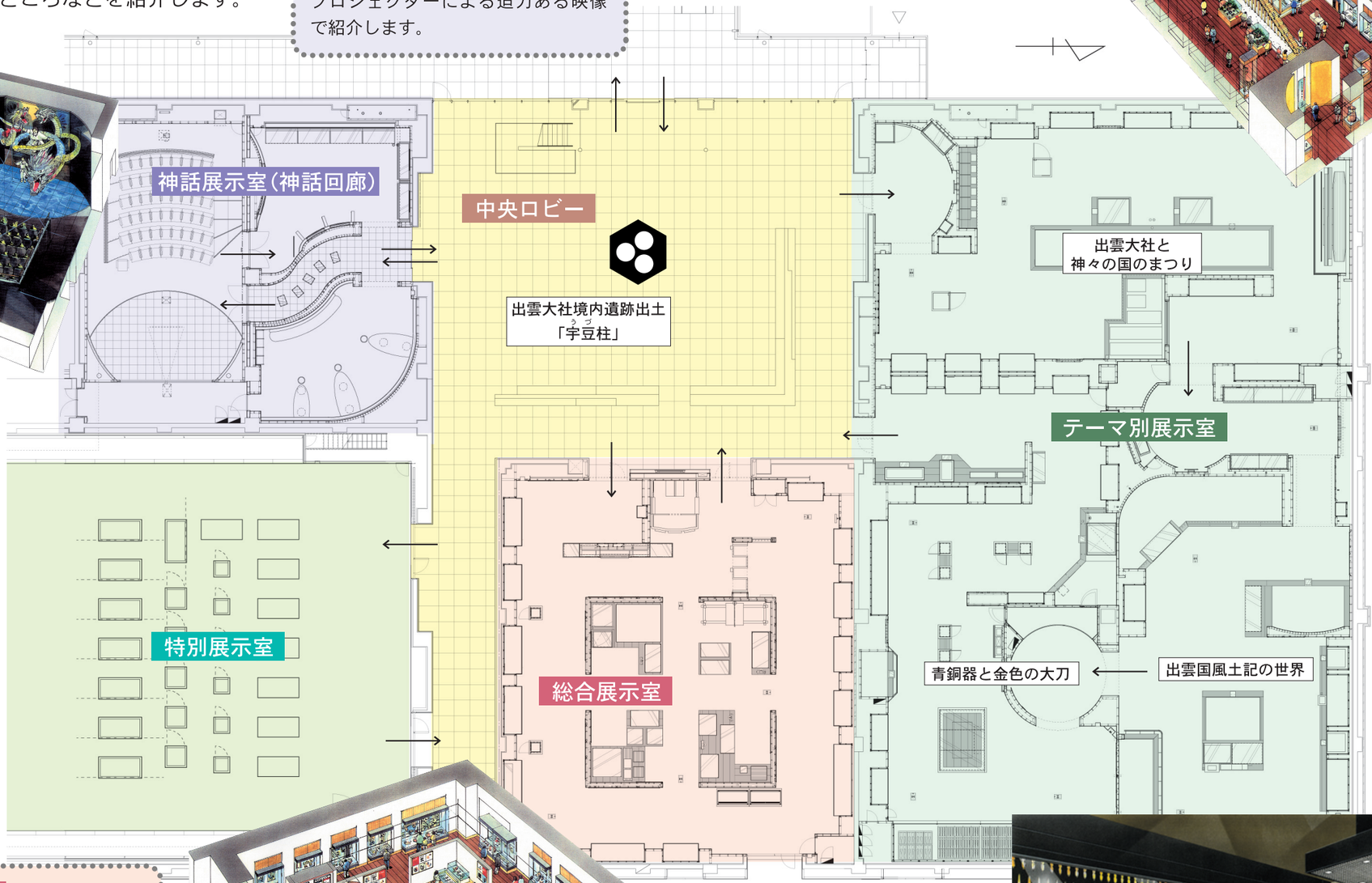
スサノオのオロチ退治やオオクニヌシの国作り,国引きなど,出雲を舞台とした神話の数々を,ムーヴィングプロジェクターによる迫力ある映像で紹介します。



中央ロビー

出雲大社境内遺跡から出土した巨大柱（宇豆柱）の実物を展示します。また周辺は休憩場所や集合場所として利用できます。





テーマ別展示室

「青銅器」,「出雲国風土記」,「出雲大社」など島根の特色ある古代文化の展開を,３つのテーマに再構成し,現代に息づく島根の古代文化の姿を探ります。

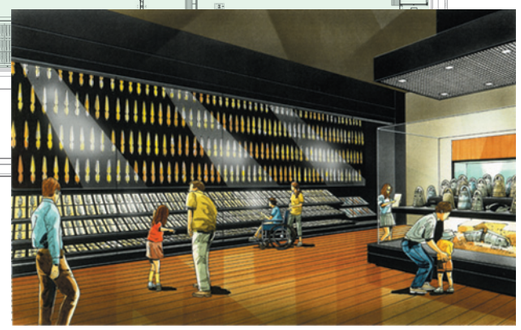
特別展示室

調査研究の成果を分かりやすく展示する自主企画展を行います。また,他館企画の優れた展示や,巡回展などを誘致したりします。

総合展示室

原始・古代から近現代に至るまでの島根の歴史と文化の特性について,人々の生活と交流の姿を中心に紹介します。





青銅器展示の様子



Part 2 **2 総合展示室**

「島根の人々の生活と交流」

総合展示室では，原始・古代から近現代に至るまでの島根の通史を紹介します。特に島根の歴史と文化を特徴づける「四隅突出型墳丘墓」，「古代出雲の玉作り」，「石見銀山」，「たたら製鉄」は重点展示として大きく扱います。また，「三瓶小豆原埋没林輪切り標本」や「玉作り　穴開け体験コーナー」，「天秤ふいご体験模型」など，来館者が実際に触ったり体験したりできるコーナーも設置しています。

展示の項目	展示の概要	主な展示品
1．しまねの夜明け　（～旧石器時代） 人類の発生から，現生人類に至る過程を通し，島根最古の人類の痕跡を紹介します。	県内最古の石器と考えられている恩田清氏採集石器群を展示しています。現在これらの石器の一部は後期旧石器時代（約2万8千年～1万2千年前）をさかのぼる可能性も指摘されており，島根県のみならず，日本列島における人類活動の始まりを考えるうえで貴重な資料といえます。	・旧石器群〔松江市／鳥ヶ崎遺跡〕
2．しまねの旧石器人と縄文人（旧石器～縄文時代） 気候の変動による海面の上昇や，動植物の変化によって，人々の生活が大きく変貌することを，移動生活の旧石器時代と定住生活の縄文時代との対比でとらえます。	（1）**移動する人と技術　ー旧石器時代ー**：人が適応しやすい環境を求めて移動することを，旧石器の石材や技術交流の痕跡をもとに明らかにします。	・旧石器群〔邑南町／堀田上遺跡〕
	（2）**移動から定住へ　ー縄文時代ー**：温暖化によって大陸から切り離され，日本列島独自の縄文文化が生まれたことを提示します。	・草創期の縄文土器〔飯南町／板屋Ⅱ遺跡〕 ・土偶〔飯南町／下山遺跡〕 ・隠岐産黒曜石
	（3）**奇跡の発見「三瓶小豆原埋没林」**：今から約3600年前の三瓶山の大噴火により，山麓の森林はもちろん，神戸川上流の縄文人の集落も大被害を受けています。さらに神戸川は火山泥流を下流部に押し流し，現在の出雲平野が形成されていく大きな要因を作ったのです。	・埋没林輪切り標本〔大田市〕 ・丸木舟〔出雲市／三田谷Ⅰ遺跡〕
3．邪馬台国時代のしまね　（弥生時代） 紀元前3世紀，大陸から稲作と一緒に新しい文化や技術が流入します。稲作文化や鉄器が伝わったルートを想定しながら，島根に根付いた弥生文化の特色を示します。	（1）**稲作文化の伝来**：朝鮮半島から北部九州を経由して伝来した稲作文化が，島根に根付く過程を探ります。	・人面付土器〔松江市／西川津遺跡〕 ・土笛〔松江市／西川津・タテチョウ遺跡〕
	（2）**鉄器と社会変革**：朝鮮半島から鉄を入手するようになった弥生時代後期。島根の鉄器やその製作技術は，どのような特色を持っていたのかを明らかにします。	・鳶形木製品〔出雲市／姫原西遺跡〕 ・貨泉〔出雲市／中野清水遺跡〕
	（3）**王墓誕生 四隅突出型墳丘墓（◆重点展示）**：山陰独特の墓制といわれる「四隅突出型墳丘墓」の成立と展開を通じて，島根の弥生社会の発展過程を探ります。	・模型「西谷3号墓墳丘模型」 ・大型壺〔松江市／間内越1号墓〕
4．大和朝廷と出雲・隠岐　（古墳～奈良時代） 古墳時代から奈良時代にかけ，古代国家の中心であった近畿地方の文化が島根にも流入します。一方で，島根には国家の一地域としての役割が与えられ，ここに中央と地方の関係が生まれます。このような国家形成の動きのなかで，島根の人々の生活がどのように変わったのかを探ります。	（1）**土器からみた暮らしの変化**：人々が使っていた土器が，列島的な政権の成立する古墳時代以降大きく様変わりすることから，国家の形成による生活スタイルの変化を読み取ります。	・煮炊き道具のセット〔安来市／石田遺跡〕 ・甑形土器〔出雲市／古志本郷遺跡〕
	（2）**隠伎国の成立**：奈良時代，隠岐の海産物は天皇や貴族の食べ物として注目されるようになります。隠伎国がなぜこのような地位を得たのか，隠岐と大和朝廷との交流から考えます。	・隠岐の荷札木簡(複製)〔奈良県／平城京跡〕 ・近畿産の土器〔知夫村／高津久1号横穴墓〕
	（3）**神秘の輝き　古代出雲の玉作り（◆重点展示）**：古代の出雲を代表する遺物とされる玉。玉作りの始まりと，玉を作ることが地域に与えた影響を探ります。	・勾玉〔吉賀町／前立山遺跡〕 ・勾玉・管玉(県指定)〔松江市／上野1号墳〕 ・玉類〔奥出雲町／原田古墳〕
5．尼子氏・益田氏と石見銀山（平安～安土桃山時代） 律令制社会から荘園制社会への移行にあたり，律令の遺産を継承して新しい制度が運用されました。また，人や物の往来も盛んになり都市が形成され，交易を通じ中国・朝鮮など海外の物資も流入するようになった地域の状況を明らかにします。	（1）**荘園と開発の時代**：平安・鎌倉時代，地域の新興領主は低湿地開発を通じて，新しい生活を形成していきます。この様子を，斐伊川下流域に焦点をあてて明らかにします。	・中国製陶磁器〔出雲市／蔵小路西遺跡〕 ・石見国惣田数注文(複製)(石見国の大田文)
	（2）**中世都市の形成と往来**：朝鮮半島・大陸までを含む広い範囲で盛んになった，人や物の往来を明らかにします。あわせて各地に中世都市が成立してきた状況を探ります。	・中国製陶磁器類〔安来市／富田川河床遺跡〕 ・尼子経久画像(県指定)〔松江市／洞光寺蔵〕
	（3）**輝き世界へ　石見銀山（◆重点展示）**：アジアとヨーロッパ諸国の交流に，石見銀が果たした役割の大きさを明らかにします。また，石見銀山の開発と繁栄や，それが他鉱山や当時の社会に与えた影響を探ります。	・模型「石見銀山遺跡・仙ノ山坑道模型」 ・ティセラ日本図 ・御取納丁銀
6．近世しまねのブランド戦略　（江戸時代） 「たたら製鉄」など，地域独自の風土と資源を活かして花開いた近世島根の産業をとらえ直し，その富によって新しい文化が創造されていった様子を紹介します。	（1）**江戸時代の島根の風土**：江戸時代の島根は，松江藩，浜田藩，津和野藩などの大名領と，幕府領の大森や隠岐（松江藩預地）で構成されていました。それぞれの地域の特徴的な出来事，文物を紹介します。	・松江藩領図（出雲十郡絵図） ・六十余州名所図会 石見 高津山汐浜 ・雲陽国益鑑
	（2）**世界に目を向けた人々**：江戸時代の島根では，藩だけでなく村や町の人々も海外に目を向けて知識を取り入れており，その中からは近代の日本にも影響を与えた人々が出たことを紹介します。	・西山砂保あてシーボルト筆修業証書(複製) ・ラクダ浮世絵
	（3）**妙好人と石見地方**：石見はなぜ真宗地帯として全国的に知られるのでしょうか。石見の真宗文化の特質を妙好人を中心に紹介します。	・『妙好人伝』
	（4）**相撲王国・島根**：江戸時代中期，松江藩は雷電をはじめ有力力士を多数抱えていることで全国的に有名でした。相撲史上重要な位置を占める島根の相撲の歴史を紹介します。	・釈迦ヶ嶽雲右衛門等身大パネル ・陣幕久五郎浮世絵
	（5）**鉄の炎　島根のたたら（◆重点展示）**：近世，島根で発展した製鉄技術「たたら製鉄」を紹介し，その隆盛の背景を明らかにします。	・模型「たたら製鉄炉の変遷模型」 ・模型「天秤ふいご体験模型」
7．日本の面影　しまね　（明治・大正・昭和） 小泉八雲の目に映った近代の島根の様子を，彼の著書や記述にまつわるモノを通じて明らかにします。	（1）**明治維新と島根**：島根県の成立と，明治維新に伴う隠岐騒動などの混乱や変化を紹介します。	・「五傍の掲示」高札 ・『隠岐国葬祭式』
	（2）**小泉八雲が語る島根**：小泉八雲を通じて，近代の島根の様子を探ります。	・『知られぬ日本の面影』初版本
	（3）**交通機関の発展**：地域をつなぎ，人・物の活発な交流を実現するためには，交通の近代化が不可欠でした。この動きを隠岐汽船・一畑電鉄の中に探ります。	・隠岐汽船資料 ・一畑電鉄資料
	（4）**写真と映像でつづる島根**：戦前，戦中，高度成長期を中心に，写真や映像を用いて，島根の景観や生活の変化をたどります。	・旧松江温泉駅改札口 ・映像「なつかしの島根」

7. 日本の面影　しまね



旧松江温泉駅改札口と一畑電車



小泉八雲著『知られぬ日本の面影』初版本

6．近世しまねのブランド戦略



陣幕久五郎浮世絵



天秤ふいご体験模型

5．尼子氏・益田氏と石見銀山



尼子経久画像〔洞光寺蔵・当館寄託〕



ティセラ日本図

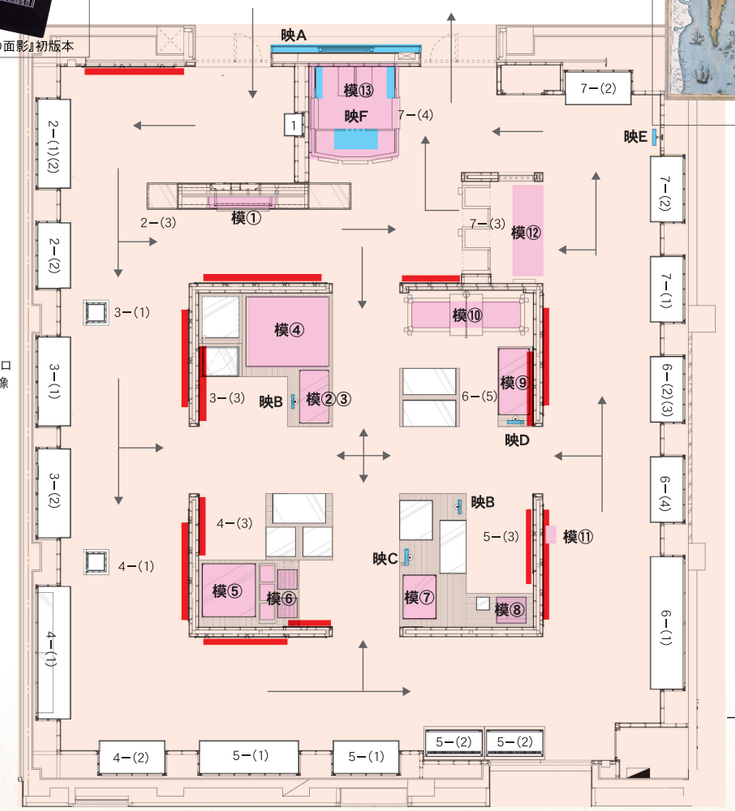
「総合展示室」平面図

模型・体験コーナー

映像プログラム

展示解説パネル

※数字は展示項目と対応します。
※模型・体験コーナー（模）と映像プログラム（映）の詳細は，「5.模型・映像プログラム」をご覧ください。



1．しまねの夜明け

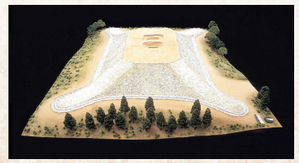


旧石器群〔鳥ヶ崎遺跡他〕

3．邪馬台国時代のしまね



人面付土器〔西川津遺跡〕



西谷3号墓墳丘模型

4．大和朝廷と出雲・隠岐



隠岐の荷札木簡（複製）〔平城京跡〕



玉類〔原田古墳〕

2．しまねの旧石器人と縄文人



土偶〔下山遺跡〕



丸木舟〔三田谷Ⅰ遺跡〕

Part 2 **3** テーマ別展示室



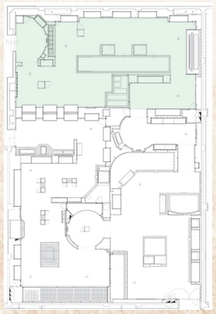
「出雲大社と神々の国のまつり」

巨大神殿出雲大社の謎を中心として，現代に息づく古代文化を継承してきた島根に生きる人々の心の営みの歴史を，様々な角度から総合的に明らかにします。

展示の項目	展示の概要	主な展示品
1．土地にうもれた神話 歴史地理学や考古学の成果に基づき，古代における出雲大社周辺の祭場と信仰の姿を明らかにします。また，なぜこの地に出雲大社が鎮座するのか，いつ創祀，創建されたのか，鎮座にまつわる様々な神話伝承を紐解きながら，聖地としての淵源と創建の歴史を探ります。	はるか古代，なぜこの地に出雲大社が創建されたのでしょうか。『出雲国風土記』には，諸々の神々が築いたと記されており，『古事記』『日本書紀』には，大国主神から国譲りを受けた代償として高天原側が創建したと記されています。	・『古事記』 ・『日本書紀』 ・銅戈・硬玉製勾玉(複製) 〔出雲市／真名井遺跡〕 ・祭祀遺物〔出雲大社境内遺跡〕 ・神像〔出雲市／青木遺跡〕
2．神々の住まい －巨大な神殿，出雲大社－ 出雲びとの大きな心のよりどころとなってきた出雲大社。なぜ，この地に巨大な神殿が造営されなくてはならなかったのか。なぜ，後の時代においても高大さが意識され続けたのか。出雲大社の特質を，発掘された巨大神殿を中核に，かつての建築と儀礼を復元しつつ，大社に対する出雲びとの心情を探ります。	**(1)巨大柱の顕現**：発掘された巨大柱と関係資料をもとに，巨大本殿の建造にいたる歴史的背景，往時の建築構造・建築技術および周囲の地理的景観の復元を試みます。	・平安時代の出雲大社本殿1/10模型 ・『口遊』(複製) ・金輪御造営差図(複製) ・出雲大社并神郷図(複製) ・出雲大社境内遺跡出土本殿遺構1/50復元模型5案
	(2)高さへの意識 －大社造と祭儀の変遷－：「仮殿」の頃，規模が縮小されてもなお高大さが意識されていた事実を，慶長期の社殿建築と祭儀に焦点をあてて明らかにします。また，寛文造営時の本殿を中心に，江戸時代における，いにしえに復古する人々の意識を，その社殿の建築構造，祭儀の姿を通して探ります。	・杵築大社近郷絵図(複製) ・出雲大社復元模型(慶長期) ・出雲大社復元模型(寛文期) ・出雲大社の千木・勝男木
3．神在月の国 －出雲信仰と人々の心－ 「福の神」「縁結び」「神在祭」など，今日に至るまで出雲大社を中心に様々な表情を見せる「出雲信仰」。出雲の神々と風土に対する人々の思想と信仰の特質，その心の移り変わりを，神在祭や出雲大社，福神に対する中世以降の信仰の歴史をもとに明らかにします。	**(1)神無月の頃 －出雲の神在祭－**：神無月(旧暦10月)，出雲には全国八百万の神々が参集するとされることから「神在月」と呼ばれ，複数の社で神在祭が今も行われています。なぜ，この地に神々は集うと伝承されるにいたったのか。出雲大社を中心に，諸社や人々の伝える史料や祭り，伝承，祭具などを通じ，その歴史的な変遷と特質を明らかにします。	・大社縁結図(三代歌川豊国) ・『佐陀大社縁起』(複製)
	(2)エビス・ダイコク・福の神：わが国において最も親しまれている福の神といえば，エビス・ダイコクです。出雲大社は，室町時代頃より福の神をまつる神社として信仰を集め，江戸中期にはダイコクさんの総本宮として知られるようになりました。また，美保神社もエビスさんをまつる神社として有名です。なぜ，出雲の神々は福の神として広く知られるところとなったのでしょうか。その信仰の歴史と人々の意識を，各地に伝わる関係資料，出雲大社にまつわる御師関係資料などをもとに明らかにします。	・玉持ダイコク(大国)像 ・木造大黒天立像
4．神々へのささげもの 出雲大社をはじめ，島根県内の神社や寺院に奉納された工芸品や絵画を通して，人々の信仰の一面を探ります。	出雲大社をはじめ，神社や寺院には，長い歴史の中で様々な品が奉納されています。それらの中には絵画や工芸品など，芸術作品として貴重なものも少なくありません。こうした品には人々のどのような思いが込められているのでしょうか。県内社寺に奉納された絵画，工芸品の数々を公開します。	・秋野鹿蒔絵手箱(国宝) ・二重亀甲剣花菱蒔絵文台・硯箱(県指定) 〔いずれも出雲大社蔵〕 ・彩絵槍扇(復元) 〔松江市／佐太神社〕



テーマ別展示室



2－(2)高さへの意識 －大社造と祭儀の変遷－



平安時代の出雲大社本殿1/10模型



出雲大社境内遺跡出土本殿遺構1/50復元模型5案



出雲大社復元模型(慶長期)

3－(1)神無月の頃 －出雲の神在祭－



大社縁結図(三代歌川豊国)

3－(2)エビス・ダイコク・福の神

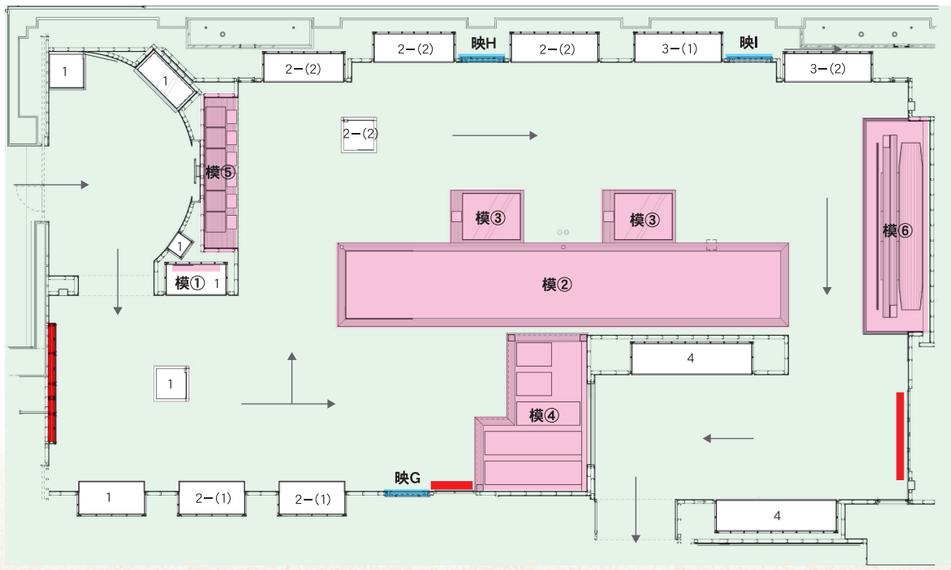


玉持ダイコク(大国)像

「出雲大社と神々の国まつり」平面図

模型・体験コーナー　映像プログラム　展示解説パネル

※数字は展示項目と対応します。
※模型・体験コーナー(模)と映像プログラム(映)の詳細は，「5.模型・映像プログラム」をご覧ください。



1．土地にうもれた神話



銅戈・硬玉製勾玉(複製)〔真名井遺跡〕



神像〔青木遺跡〕

2－(1)巨大柱の顕現



宇豆柱の出土状況〔出雲大社境内遺跡〕

4．神々へのささげもの



彩絵槍扇(復元)〔佐太神社〕

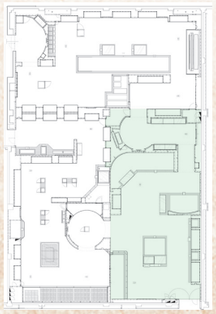
「出雲国風土記の世界」

古代の地域の様子がいきいきと描かれた『出雲国風土記』を手掛かりに，当時の自然や景観の中で育まれた“くらし”をさまざまな角度から概観します。当時の人々がどのような暮らしを営んできたのかを復元的に展示するとともに，現代のくらしにも息づく古代文化を探ります。

展示の項目	展示の概要	主な展示品
1.『出雲国風土記』を読む 『出雲国風土記』には個性豊かな神話だけでなく，生業や暮らしなど古代社会の実像を探るうえで貴重な情報が含まれていることを示し，改めて『出雲国風土記』が今日まで残ったことの重要性を再認識します。	（1）**『出雲国風土記』の特色**：風土記が作られた年代やその意味，目的について概観するとともに，『出雲国風土記』の特徴について解説します。	・『出雲国風土記』写本 ・成立当初の『出雲国風土記』(復元) ・映像「出雲国風土記誕生秘話」
	（2）**古代出雲の原風景**：『出雲国風土記』に記載された内容は非常に豊かで，古代の地域を研究するうえで第一級の史料であることを解説します。	・墨書土器「意宇」〔松江市／出雲国府跡〕 ・軒丸瓦・軒平瓦〔松江市／来美廃寺〕
2.市と渡しに集う人々 市ではさまざまな人々が往来し，モノが行き交います。そのような社会の縮図とでも言うべき場所に焦点を当て，当時の生業や暮らしの一端に迫ります。	（1）**風土記時代へタイムスリップ**：風土記時代の暮らしの実像に迫るため，さまざまなモノや人々が往来した朝酌促戸（あさくみのせと，現在の松江市矢田渡し付近）の市場の雑踏にタイムスリップします。	・模型「『風土記時代』の朝酌促戸」
	（2）**再現された古代の市**：朝酌促戸には渡し場が設けられ，市が立ち，国府の官人から百姓に至るまでさまざまな階層の人々が集う場所でした。このような市に集う人々と交易の様子をわかりやすく実物大模型で再現します。	・模型「朝酌の市，ある日の出来事」
	（3）**市を彩る各地の産物**：朝酌促戸の市に集まってきたと推定される出雲国内や出雲と交流のあった各地の物品を並べ，古代出雲が開かれた空間であったことを示します。	・風土記時代の出雲の諸産物模型 ・和同開珎〔出雲市／三田谷Ⅰ遺跡〕 ・焼き塩土器〔出雲市／古志本郷遺跡〕
3.再現された古代の里 『出雲国風土記』の記述をもとに，サトの生活のさまざまな局面を，集落内の生業・住まい・食・遊びなど要素別に復元的に展示し，古代の暮らしの実像に迫ります。	（1）**様々な生業**：『出雲国風土記』に記された農業・漁業・須恵器の製作など，古代出雲の多様な生業の実態を紹介します。	・模型「大井里のなりわいと暮らし」 ・模型「須恵器を焼く様子」 ・須恵器〔松江市／池ノ奥窯跡群〕 ・土馬〔松江市／池ノ奥窯跡群〕 ・模型「朝酌促戸の釜漁」
	（2）**入り海の宴**：『出雲国風土記』には，邑美冷水や前原埼，忌部神戸において，老若男女が集い宴が催されていたことが記されています。ここでは，邑美冷水や前原埼（現松江市大海崎町）を舞台に，古代出雲の宴や歌垣の様子を再現します。	・和琴〔松江市／前田遺跡〕 ・模型「入り海の宴」 ・映像「古代出雲の愛の物語」
4.風土記と現代 地域に残された近現代の写真や民具の展示を通して，生活の中に息づく古代文化を探ります。出雲では，景観や地域の自然的環境とそれに規定された地域の特色が，風土記時代と大きく変わらずに残されていることを朝酌を通じて明らかにします。	（1）**写真で見る地域の原風景**：写真や映像に残されている朝酌の風景や暮らしの様子から，風土記と現代との接点を探ります。	・高度経済成長以前の朝酌の写真パネル
	（2）**中海・大橋川に生きる人々**：近代以降の中海沿岸で生きる人々の生活の様子を，民具などを通して紹介することで，現代の生活も風土記時代や原始・古代とつながっていることを明らかにします。	・そりこ舟 ・四つ手網 ・うなぎ筌 ・赤貝桁



テーマ別展示室



1ー(1)『出雲国風土記』の特色



『出雲国風土記』写本

1ー(2)古代出雲の原風景



軒丸瓦・軒平瓦〔来美廃寺〕

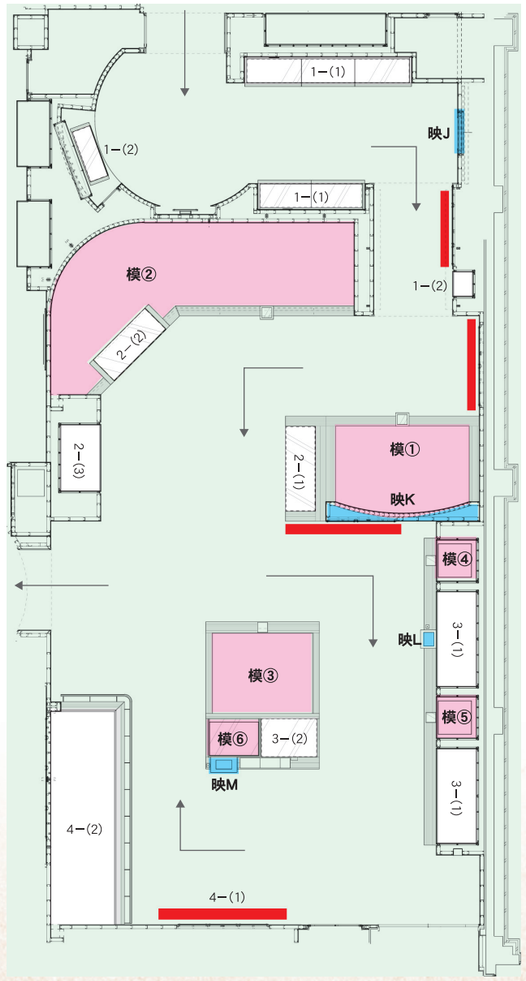
「出雲国風土記の世界」平面図

模型・体験コーナー

映像プログラム

展示解説パネル

※数字は展示項目と対応します。
※模型・体験コーナー（模）と映像プログラム（映）の詳細は，「5.模型・映像プログラム」をご覧ください。



4.風土記と現代



中海での赤貝漁で活躍したそりこ舟

2.市と渡しに集う人々





模型「朝酌の市，ある日の出来事」

3.再現された古代の里

模型「須恵器を焼く様子」

模型「朝酌促戸の釜漁」

土馬〔池ノ奥窯跡群〕

和琴〔前田遺跡〕

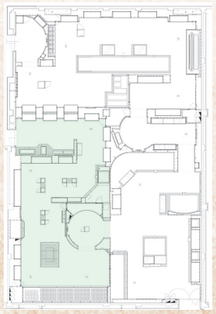
「青銅器と金色の大刀」

見るものを魅了する，弥生時代の青銅器や古墳時代の豪族を飾った金銀の大刀。島根が誇るこれらの遺産を紹介するとともに，いにしえの島根の人々が，これら青銅器や大刀に何を託したのかを読み取り，青銅器や大刀を象徴とした出雲や島根といった地域の成り立ちについても考えます。

展示の項目	展示の概要	主な展示品
1．青銅器の力 青銅器の祭祀を通じて，ムラがまとまってきたことを荒神谷遺跡，加茂岩倉遺跡の青銅器を中心に明らかにします。	（1）**青銅器の神秘性**：弥生時代の生活で使われていた道具と一緒に，光り輝く青銅器を展示します。ここでは，青銅器がもつ特異性・神秘性を表現します。	・弥生時代の暮らしの道具 ・銅剣・銅鐸・銅矛・銅戈(復元) ・「銅鐸を鳴らしてみよう」コーナー
	（2）**島根の青銅器**：荒神谷遺跡，加茂岩倉遺跡はもちろん，島根県内出土の青銅器をすべて展示し，その圧倒的な数量を来館者に訴えます。	・銅剣358本・銅矛16本・銅鐸6個(国宝) 〔斐川町／荒神谷遺跡〕 ・銅鐸39個(国重文) 〔雲南市／加茂岩倉遺跡〕 ・銅剣6本・銅鐸2個 〔松江市／志谷奥遺跡〕
	（3）**大量埋納のなぞ**：なぜ青銅器が集められ，なぜ埋納されたのか，来館者とともに考えます。	・模型「荒神谷遺跡銅剣埋納シーン模型」 ・ＰＣ端末「青銅器大百科」
	（4）**青銅器は何に使われたのか**：日本の青銅器の形態の変化や多様性，刻まれた絵画などを追うことによって，青銅器が実用品から祭器へと変化していった様子を概説します。	・古代中国＜殷時代＞の銅鈴 ・朝鮮式小銅鐸(複製) ・全国の主な青銅器(複製)
	（5）**東アジアの青銅器文化と日本の青銅器**：アジアの青銅器文化を概観し，その中で日本では青銅器が祭器のみ特異に発達するという特色を浮き彫りにします。	・古代中国＜殷～漢時代＞の青銅器 （鐘・矛・戈・方壺・鼎・弩など） ・中国北方遊牧民の青銅器 （装飾品・ナイフなど）
	（6）**鏡とともに**：古墳時代になって，集団で青銅器を所有することから，個人が青銅器（鏡）を所有し，その者が集団をまとめる力をもつようになったことを概観します。	・「景初三年」銘三角縁神獣鏡(国重文) 〔雲南市／神原神社古墳〕 ・斜縁神獣鏡〔安来市／造山3号墳〕 ・三角縁神獣鏡〔松江市／八日山1号墳〕
2．装飾付大刀の世界 古墳時代には，首長個人の力量に付随するかたちで集団の組織化が進み，規則が作られました。そのために，首長の持ちものが集団の象徴として発達しました。その代表である装飾付大刀を取り上げ，当時の出雲社会がどのようにまとまっていたのかを明らかにします。	（1）**人と刀剣のかかわり**：東アジア社会に見られる，大刀を墓に副葬する風習や，大刀を権力の象徴とする事例など，大刀が使われる場面を通して，人と刀剣の関わりを概観します。	・素環頭大刀(国重文) 〔雲南市／神原神社古墳〕 ・素環頭大刀(復元)〔安来市／大成古墳〕
	（2）**装飾付大刀を帯びる人々**：古墳時代後期の装飾付大刀が，首長個人を飾り立て，かつ序列を示していたことを伝えます。また，当時流行していた金銅装の装飾品も展示します。	・模型「馬上の大首長像」 ・「額田部臣」銘入大刀(複製) 〔松江市／岡田山1号墳〕 ・映像「額田部臣遙かなり」
	（3）**出雲の豪族と中央の豪族**：装飾付大刀そのものの構造を解説するとともに，大刀の形式などから出雲の豪族たちと中央豪族の関係を明らかにします。	・双龍環頭大刀(国重文) 〔安来市／かわらけ谷横穴墓〕 ・圭頭大刀〔出雲市／放れ山古墳〕 ・形象埴輪(県指定) 〔奥出雲町／常楽寺古墳〕



テーマ別展示室



2ー(3)出雲の豪族と中央の豪族



双龍環頭大刀〔かわらけ谷横穴墓〕

2ー(2)装飾付大刀を帯びる人々



馬上の大首長像
〔上塩冶築山古墳〕

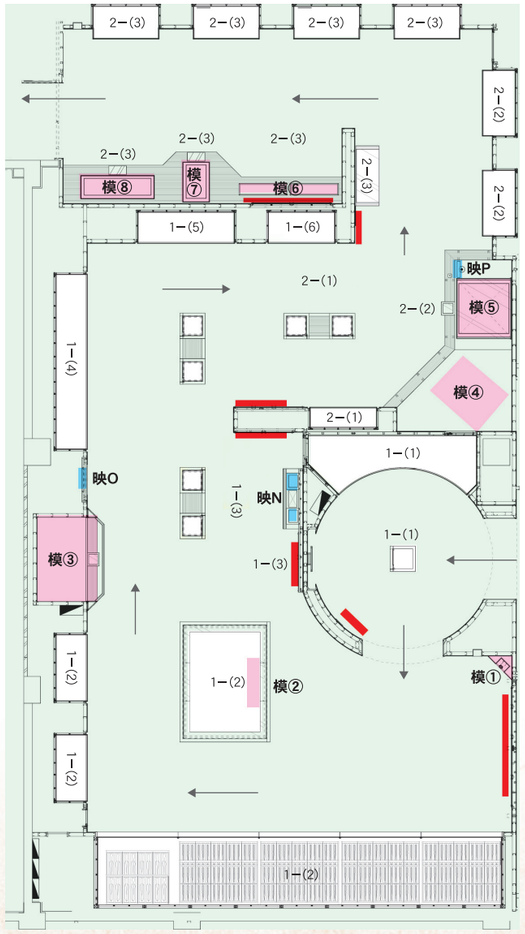
「青銅器と金色の大刀」平面図

模型・体験コーナー

映像プログラム

展示解説パネル

※数字は展示項目と対応します。
※模型・体験コーナー(模)と映像プログラム(映)の詳細は，「5.模型・映像プログラム」をご覧ください。



2ー(1)人と刀剣のかかわり



神原神社古墳出土品

1ー(6)鏡とともに



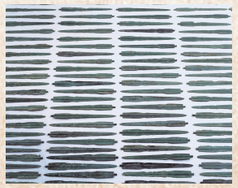
「景初三年」銘三角縁神獣鏡〔神原神社古墳〕

1ー(5)東アジアの青銅器 文化と日本の青銅器



青銅製龍文鐘（中国・春秋戦国時代）

1ー(2)島根の青銅器



荒神谷遺跡出土の銅剣



加茂岩倉遺跡出土の銅鐸

1ー(1)青銅器の神秘性



青銅器復元品



Part 2 4 神話展示室

「神話回廊」

「神々の国」「神話のふるさと」とも呼ばれる島根。『古事記』や『日本書紀』には，スサノオのヤマタノオロチ退治など，出雲を舞台とした神話が数多く記され，『出雲国風土記』には，国引き神話など地域色豊かな神話が伝えられています。この島根を舞台とした神話や伝承をわかりやすく，かつ楽しみながら紹介し，出雲が多くの神話の舞台となっている理由を考えます。

展示の項目	展示の概要	主な展示品
1．神話の玉手箱 ー神々の物語ー 『古事記』を中心に中央でまとめられた神話や，『出雲国風土記』に記された地域色豊かな出雲（系）神話のストーリーを，迫力ある映像を通じてわかりやすく紹介します。	出雲を舞台とした代表的な神話を，実写とＣＧで再現して紹介します。映写機は最新鋭の「ムーヴィング・プロジェクター」で，正面スクリーンだけでなく，左右の壁や床・天井にも映像を映し出し，迫力あるストーリー展開で神話を堪能できます。	・映像プログラム （1）スサノヲとヤマタノヲロチ （2）オオクニヌシの国作り （3）国引き （4）佐太大神の誕生 ー加賀神埼ー （5）ワニザメの悲恋 ー恋山ー （6）比売埼伝承
2．語りつがれる神話 神話の解釈の変化，神楽や神賀詞（かんよごと）奏上儀礼など，神話が語られた場を概説し，これを北ツ海（日本海）を舞台とした神話や世界の神話などと比較することによって神話の果たした意味を考えます。	（1）**神話が語られる場**：神々の物語としてだけでなく，生活の中で生じるさまざまな事象を説明するためにも，神話は儀礼や祭りの場で演じられ，語られてきました。神話のもつ意味を，神話が語られる場の再現によって概説します。	・映像「出雲国造神賀詞奏上儀礼」 ・映像「神々の舞 ー出雲にちなむ神楽ー」 ・様々な神楽面・衣裳
	（2）**北ツ海を巡る神話**：日本海を通じた神々の交流を語る神話を紹介し，その背景を探ります。	・映像「ムーダン ー韓国の神語りー」
	（3）**世界の神話**：世界各地の神話を紹介することで，人間にとって共通の出来事を取り上げた神話があることを伝えます。	・映像「世界神話旅行」
	（4）**再解釈される神話**：時代，時代で神話がどのようにイメージされ，解釈されてきたのか。そしてどのように用いられてきたのかについて概説します。	・板絵（複製）〔松江市/八重垣神社〕 ・本居宣長著『古事記伝』版本 ・ヤマタノオロチ絵馬 ・スサノオ錦絵 ・戦前の国定教科書
3．神話の世界を探検しよう 神話のストーリー展開にあわせて，神話伝承地，伝承物，解釈の変化，同類型の各民族の神話などを紹介します。また，神話を扱った書物や絵画を手にとって見ることができます。	本邦初の神話データベースを設置しています。パソコンを使って自由に検索し，神話についてのさまざまな疑問を調べることができます。	・神話探検ブース





2ー(1)神話が語られる場



スサノオの面（複製）〔見々久神楽〕



ヤマタノオロチの蛇頭（複製）〔日御碕神代神楽〕



ヤマタノオロチの面（複製）〔佐陀神能〕



映像「神々の舞 ー出雲にちなむ神楽ー」

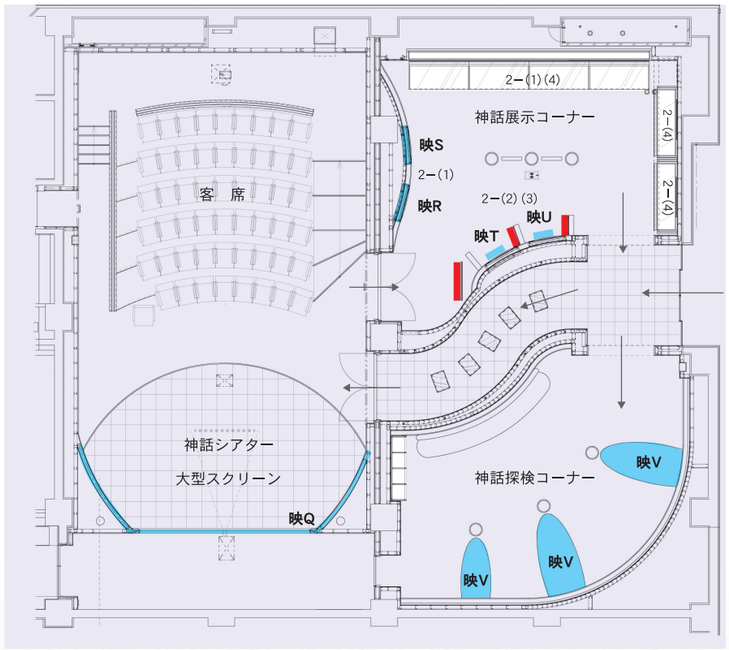
「神話展示室（神話回廊）」平面図

模型・体験コーナー

映像プログラム

展示解説パネル

※数字は展示項目と対応します。
※模型・体験コーナー（模）と映像プログラム（映）の詳細は，「5.模型・映像プログラム」をご覧ください。



2ー(4)再解釈される神話



スサノオ錦絵



本居宣長著『古事記伝』版本



板絵〔八重垣神社〕

Part 2 5 模型・映像プログラム



各展示室では，資料展示では表現できない建築物や景観などについて模型や映像で紹介しています。また，来館者が実際に触ったり，試したりすることにより体感・体験できるコーナーも設置していますので，展示解説の補助として活用してください。

◎模型・体験コーナー

総合展示室「島根の人々の生活と交流」

No.	名　称	内　容
模①	三瓶小豆原埋没林輪切り標本	三瓶山の噴火活動により埋没した，縄文時代の杉の輪切り標本です。直接手で触ってみて，その大きさや質感を実感することができます。
模②	波来浜遺跡A区2号墓（方形貼石墓）模型	江津市で発見された方形貼石墓の発掘状況を復元した模型です。弥生時代中期のもので，四隅突出型墳丘墓が出現する前の方形墓です。
模③	順庵原1号墓模型	1969年，邑南町で発見された四隅突出型墳丘墓の発掘状況を復元した模型です。弥生時代後期前半のもので，日本で最初に発見された「四隅」として有名です。
模④	西谷3号墓墳丘模型	出雲市で発見された四隅突出型墳丘墓の築造時を復元した模型です。一辺が50mを超える全国でも最大規模の「四隅」で，弥生時代の王墓と考えられています。
模⑤	玉作り工房復元模型	大原遺跡（安来市）で発掘された，古墳時代中期の玉作工房跡を復元したものです。玉を作る作業の様子や玉作りの工程を見ることができます。
模⑥	玉作り 穴開け体験コーナー	実際の玉作りで使われた石材を用い，玉作りの穴開け作業を体験できます。
模⑦	石見銀山遺跡・仙ノ山坑道模型	石見銀山遺跡の中心部，仙ノ山頂上の建物の跡や墓等に加え，地下に数多く眠る坑道を，地上と地下の二重構造模型でわかりやすく紹介します。
模⑧	石見銀山「御取納丁銀」体験コーナー	毛利元就が朝廷に献上したと伝えられる「御取納丁銀」。そのレプリカを実際に手に持つことで，重さや大きさを体感することができます。
模⑨	たたら製鉄炉の変遷模型	たたら製鉄炉の地下構造は，古代から中世，近世へと次第に複雑で大がかりなものへと変わります。その変化を時代別にわかりやすく比較できます。
模⑩	天秤ふいご体験模型	たたら製鉄では，砂鉄を溶かす炉へ天秤ふいごで空気を送り込みました。価谷たたら（江津市）の天秤ふいごを再現し，ふいご踏みを体験できます。
模⑪	釈迦ヶ嶽雲右衛門・実物大手形	釈迦ヶ嶽雲右衛門は安来市出身で，身長2m27cm，体重180kgの巨漢力士でした。展示解説パネルに描かれた姿は等身大で，実物大の手形も埋め込まれています。手形に触れて大きさを実感してください。
模⑫	旧松江温泉駅改札口	昭和3年に建設され，平成14年に解体された旧松江温泉駅（旧北松江駅）の改札口を，当時設置されていた器材を用いて復元したものです。
模⑬	一畑電車実物車両	昭和2年から平成8年まで実際に使用されていた車両です。車内では，実際の一畑電車の車窓から望める風景の映像や，島根のなつかしい記録映像を見ることができます。

テーマ別展示室「出雲大社と神々の国のまつり」

No.	名　称	内　容
模①	青木遺跡模型	古代の神社建築の可能性が高いとされる青木遺跡の掘立柱建物遺構を，忠実な遺構模型でリアルに表現します。
模②	平安時代の出雲大社本殿（1/10復元模型）	高さ約4.8m，全長約13.3mの模型です。この模型を中心に，平安時代の大社境内の雰囲気を実感できるよう，天井は朝・昼・夕と変化し，それに合わせて鳩の鳴き声や小川のせせらぎ，柏手を打つ音なども響き渡ります。
模③	出雲大社の慶長期・寛文期復元模型	出雲大社境内の，本殿をはじめとする建造物の変遷を模型として表現しています。神仏習合の色合いが濃い慶長期（17世紀初頭）の景観と，仏教色を取り除いた寛文の造営（1667年）後の対照的な景観が印象的です。
模④	出雲大社境内遺跡出土本殿遺構復元建築模型	現代を代表する5人の建築学者が，発掘データや当時の文献・絵画資料を基に，鎌倉時代の本殿の推定復元模型を作成しました。どの模型が真実に近いか，一緒に考えてみてください。
模⑤	各種神社建築模型	「大社造」の特徴をわかりやすく理解できるように，現在の出雲大社本殿とともに，全国の特色ある5つの神社（伊勢神宮・住吉大社・宇佐神宮・賀茂別雷神社・春日大社）の社殿を1/50サイズで模型化しました。
模⑥	出雲大社の千木・勝男木	明治14年から昭和28年までの72年間，本殿の屋根を飾っていた千木と勝男木です。千木の長さは約8.3m，勝男木の長さは約5.45mもあります。

テーマ別展示室「出雲国風土記の世界」

No.	名　称	内　容
模①	「風土記時代」の朝酌促戸	舞台は松江市朝酌地区。ここに古代の市場があり，古代の景観をジオラマで再現しました。また，背景の映像との組み合わせで，古代の景観と現在の景観を比較することができます。
模②	朝酌の市，ある日の出来事	朝酌の市は古代出雲の繁華街でした。この市場の様子を実物大で再現するとともに，当時の人々が市で交わしていた言葉や音も再現しています。
模③	大井里のなりわいと暮らし	朝酌の市の近くに大井浜という場所がありました。そこでは人々はナマコやミルをとり，須恵器を焼いていました。大井里の景観と，そこで働く人々の日常生活を1/200スケールで再現しています。
模④	須恵器を焼く様子	奈良時代の一時期，出雲国の須恵器はすべて大井浜で焼かれていました。このような大井産須恵器の窯場と，そこでの作業風景を，1/20スケールで再現しています。
模⑤	朝酌促戸の筌漁	朝酌には豊富な漁場があり，『出雲国風土記』によれば，筌（ひび）と呼ばれる漁具を仕掛けて魚を獲っていました。この筌漁の様子を1/20スケールで復元しています。
模⑥	入り海の宴	古代の人々は，時には風光明媚な場所で宴会を楽しみました。そこでは，若い男女が愛をささやきあう場面もありました。邑美冷水における宴の場面を1/20スケールで再現しています。

テーマ別展示室「青銅器と金色の大刀」

No.	名　称	内　容
模①	銅鐸を鳴らしてみよう	荒神谷遺跡出土銅鐸の復元品です。鳴らしてみて，弥生の音色を体感してください。
模②	加茂岩倉遺跡銅鐸出土状況模型	道路工事中の大型重機によって，銅鐸が土の中から掘り出された状況を模型で再現しています。
模③	荒神谷遺跡銅剣埋納シーン模型	神庭荒神谷の地に青銅器が埋納された時の様子を，周辺の地形とともに臨場感あふれる模型で再現しています。
模④	上塩冶築山古墳「馬上の大首長像」模型	古墳時代の豪族たちが使った大刀や冠，馬具などが金や銀で飾られていたことを，馬にまたがる首長の実物大模型で再現します。モデルは上塩冶築山古墳の埋葬者で，同古墳から出土した副葬品を参考に復元しています。
模⑤	外交使節をむかえる額田部臣たち	岡田山古墳出土の大刀に刻まれた「額田部臣」。額田部臣とその配下たちの活躍ぶりを1/10模型で紹介します。外国からの使節を大和川（奈良県）のほとりで迎える儀式に参列している場面です。
模⑥	金銅装圭頭大刀模型 金銅装双龍環頭大刀模型	金色に輝く装飾付大刀の実物大模型です。古墳時代の職人が技術の粋を結集してつくり上げた大刀の様子がよくわかります。
模⑦	岩屋後古墳の石棺式石室	古墳時代後期に，現在の松江市を中心とした出雲東部地域で発達した石棺式石室。その中で最も典型的，かつ規模の大きい岩屋後古墳の石室を1/10スケールで復元しています。
模⑧	上塩冶築山古墳の横穴式石室	古墳時代後期に，現在の出雲市を中心とした出雲西部地域に分布していた横穴式石室。その中で，最も典型的，かつ規模の大きい上塩冶築山古墳の石室を1/10スケールで復元しています。岩屋後古墳の石室と比較すると，両者の違いがよくわかります。

◎映像プログラム

総合展示室「島根の人々の生活と交流」

No.	名　称	内　容
映A	島根の姿 ーあなたの家をさがしてみようー	大画面のタッチ式パネルを操作することで，原始・古代から現代に至るまでの島根県の地形の変化や，最新の衛星写真データによる現在の島根県の様子を概観することができます。
映B	現地案内戦隊ナビレンジャー	重点展示「四隅突出型墳丘墓」「古代出雲の玉作り」「石見銀山」「たたら製鉄」に関連する，県内各地の遺跡や施設を案内します。
映C	探検 石見銀山 ー巨大坑道！大久保間歩ー	石見銀山でも最大規模の坑道といわれる「大久保間歩」。坑道内の様子を紹介します。
映D	いま甦るたたら製鉄 ー石見・価谷たたらー	価谷たたら（江津市）の外観や内部の様子，地下構造をＣＧで再現し，また，たたら操業の様子や技術を実写映像を交えて紹介します。
映E	ハーンの音風景 ー明治時代の出雲の生活ー	小泉八雲が感じた松江の情景や人々の暮らしの様子を，近現代の写真と効果音で紹介します。
映F	ー畑電車・運転席からの車窓風景 なつかしの島根 ー映像風土記ー	一畑電車の車両内で，運転席からの現在の車窓風景を上映します。また，昭和40年代を中心とした島根の記録映像も上映し，当時の島根の様子を紹介します。

テーマ別展示室「出雲大社と神々の国のまつり」

No.	名　称	内　容
映G	壮大な神殿の謎 ー柱立てと神郷図ー	平成12年に発掘された出雲大社の巨大宇豆柱の構造と建築技術を解説します。また，当時の大社周辺の景観を，「出雲大社并神郷図」をもとに再現しています。
映H	蘇る，慶長本殿内部の世界	慶長期の出雲大社本殿は，外観・内面とも現在とは大きく異なっていました。現存する障壁画から本殿を再現することで，当時の本殿の様子をリアルに体感することができます。
映I	神々が集う ー出雲神在祭ー	神在祭の様子を，記録映像を中心に紹介します。

テーマ別展示室「出雲国風土記の世界」

No.	名　称	内　容
映J	出雲国風土記誕生秘話	風土記編纂の状況について，古代のエピソードを中心にアニメドラマで紹介します。
映K	今も残る風土記時代の景観	現在の朝酌の風景を，四季を通じて変化させていきます。
映L	古代出雲の須恵器 ー回転糸切り技法ー	須恵器の回転糸切りの様子を，実演で解説します。
映M	古代出雲の愛の物語	古代出雲人の恋愛ドラマを，朝酌促戸女と大井浜麻呂を主人公とするアニメで再現しています。邑美冷水での宴や歌垣の場面をも盛り込んだ，古代出雲の愛の物語です。

テーマ別展示室「青銅器と金色の大刀」

No.	名　称	内　容
映N	青銅器大百科	「全国埋納地検索」「埋納の謎」「バーチャルミュージアム」という3つのテーマで構成されています。クイズ形式のものや，出土品のＣＧ再現などもあり，ゲーム感覚で埋納地やその秘密を知ることができます。
映O	銅鐸は語る	現在も多くの謎に包まれている銅鐸。その謎に満ちた祭器・宝器としての象徴性と，弥生人の心象風景を再現します。
映P	額田部臣遙かなり ー古代豪族の肖像ー	古代の豪族である額田部臣の活躍や暮らしを，出土品や活躍の伝承が残る場所の風景とともに紹介します。

神話展示室「神話回廊」

No.	名　称	内　容
映Q	神話の玉手箱	「スサノヲとヤマタノヲロチ」「オオクニヌシの国作り」「国引き」「佐太大神の誕生ー加賀神埼ー」「ワニザメの悲恋ー恋山ー」「比売埼伝承」の6つの神話を，実写とＣＧでわかりやすく紹介します。
映R	出雲国造神賀詞奏上儀礼	古代の神賀詞奏上の儀礼をドラマタッチで再現し紹介します。
映S	神々の舞 ー出雲にちなむ神楽ー	島根県では神話が受け継がれ，現在も盛んに神楽が演じられています。その神楽や伝統神事の様子を，貴重な資料映像で紹介します。
映T	ムーダン ー韓国の神話りー	韓国で行われる儀礼と，語られる巫女（ムーダン）の神話を，実際の資料映像で紹介します。
映U	世界神話旅行	世界各地に伝わる「創世神話」と「死の起源」神話は大変似通っている部分があり，日本の神話の起源や系統を考えるうえで重要です。これらの物語を紙芝居風に展開します。
映V	神話の世界を探検しよう	神話シアターや神話展示コーナーで流れたあの感動の映像をもう一度味わいたい！　神様についてもっと知りたい！　そんなあなたの希望に応える本邦初のデジタル神話ミュージアムです。

※模型や映像機器の設置場所については，各展示室の平面図に番号や記号を掲載しています。